

京都コースからの7がみ



2025 年 5 月発行
第 88 号

〒607-8218 京都市山科区勤修寺御所内町64-3
深草こどもの家 勤修寺園舎
TEL:075-641-8280 FAX:075-642-8588
メールアドレス: mc.kyoto@theia.ocn.ne.jp

クラウドファンディングははじめます

期間：二〇二五年六月一日～七月三十一日

京都コース／深草こどもの家 学校法人設立準備会 代表 根岸美奈子

深草こどもの家／京都モンテッソーリ教師養成コース 学校法人化プロジェクトが始まってから早、四年が経とうとしています。

「条件さえ整えば学校法人化は可能です」という京都府からの回答を頂き、永年の夢が叶うと皆で喜び合いました。二〇一九年の事です。しかし、その喜びもつかの間、その一年後、建物の不備のため建て替えが必須となりました。

赤羽恵子がヨーロッパで学んで、東京の子どもの家を経てモンテッソーリ教育を実践するために、少しでも理想に近い「深草こどもの家」を建てました。しかし、こどもたちと四十年間育んできた「深草こどもの家」その建物をすべて取り壊さなければならぬという悲しい事態に直面しました。建て替えるためには何億というお金がかかります。敷地が市街化調整区域であること、山の中腹に位置し擁壁が必要なこと、また、認可外施設のため金融機関をはじめとする他からの借金はできないこと等々次から次へと難題が押し寄せてきました。

二〇二一年に京都地域創造基金を通しての寄付募集を始めました。

京都コース、深草こどもの家、モンテッソーリ教育関係者の方々からたくさんのご寄付を頂いております。有難うございます。毎月定額を寄付してくださっている方もいらっしゃると思います。三〇年～四〇年ほど前の京都コース卒業生の方々からは「新しい教育に感動し、学びを活かして、現在モンテッソーリ園を運営しています。」などのお便りと共にたくさんの方の援助を頂いております。心を込めて感謝申し上げます。

二〇二五年四月までに延べ六六四人の方と団体から総額五千四百七十五万九千九百七十三円（京都地域創造基金へ46,752,917円、準備会へ直接8,036,682円の総額）のご寄付を賜りました。

今回のクラウドファンディングでは、皆様のような関係者の方々からさらに多くの方々に拡散し支援の輪が大きく広がるよう、どうぞ応援をよろしく願っています。

京都発モンテッソーリ園を未来へ！ 新園舎 × 学校法人化プロジェクト

百年先の子どもたちへ 深草こどもの家を未来へつなぐ 学校法人化プロジェクト
創立四十五年のモンテッソーリ園が『学校法人化』へ挑む！ →



コーススタッフの方々、協力園の先生方にご協力いただき、
P R動画も制作いたしました。ぜひご覧ください。



「深草こどもの家を未来につなぐ + 学校法人化プロジェクト」ショート版 →
<https://youtu.be/xCJkYH3oPns>



「モンテッソーリ教育を多くの子どもたちへ」ロング版 →
<https://youtu.be/dG48doy92jl>

【よくあるご質問】

なぜ学校法人化しなければならないのですか？

幼稚園は文部科学省の管轄する学校法人が運営するものです。現在私たちは、京都府文教課との協議を続けております。幼稚園の認可を受けるためには、学校法人にならなければなりません。

こども園ではないのですか？

乳幼児の減少と共働き家庭の増加に伴い、幼稚園からこども園に移行するところが増えていきます。また、政府もこども園への移行を推奨しています。しかし、こども園になるためには、現在すでに幼稚園または保育園として認可されていなければならないという法律があります。

社会福祉法人の保育園にどうしてなれないのですか？

保育園の認可には保育の内容ではなく、利便性が問われます。交通の便、山なので周りに民家が少ないなど立地による問題で保育園としては認可へ向かうことはできませんでした。

なぜ、あの深草の土地にこだわるのですか？

私たちは、かつての園舎のあった深草の土地にこだわってはいません。この教育法が継承されるのであれば場所にはこだわられません。ただし、旧園舎のあった場所は赤羽恵子の土地ですが、他の場所となるとその土地を購入しなければなら

ず費用の問題があります。また、現在、仮園舎として利用している勤修寺園舎もとても環境の良い場所ですが、近くに（国が定める1km以内に）他の幼稚園があるため、この場所での認可は不可となります。

京都府からは、今までの場所（旧深草園舎）で認可に向けて話し合いを行ってきたという経緯があると伝えられました。

他の学校法人の傘下には入らないのですか？

園舎建築のために莫大な費用がかかるため、他の学校法人の傘下に入って、借金を返済していくという案も検討してまいりましたが、それぞれの理念や方向性の反りを合わせるのが大変難しく、実現に至っていません。

学校法人になるメリットは？

1. 公的な援助が受けられます。支援の必要なお子さんのケア、教職員の待遇改善、子どもたちのための環境整備が実現します。
2. 様々な広報に園名が掲載されます。（認可外の園の扱いは、塾・教室とみなされます）
3. 教員養成機関（大学などで教員の資格が取得できるところ）から学生が実習先としてここを選んで学ぶことが出来ます。（認可外は実習先として認められません）

一日も早い学校法人化実現を目指します。皆様方の応援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもにたっぷりの自由な時間を！

京都モンテッソーリ教師養成コース
委員長 根岸美奈子

赤羽恵子と周りを支えてくださった方々のお陰で、深草こどもの家は四五年も続けてくることができました。赤羽恵子の半生は大きな波があり、高い壁があり、平穩無事だったことはほとんどなかったのではないかと思います。常にその時々々の難題に立ち向かっていました。大きな波はくぐりぬけ、高い壁には扉を作り、子どもたちの生活を守り、それを支える教師養成に全力を注ぎました。過去にこだわらず子どもたちの未来のため、そして新しい教師をつくるために奔走しました。戦争を体験し、敗戦後にモンテッソーリ教育に出会ったので、「これからの子どもたちは自分で考えて自分で行動できる子に」と強く願いました。現代の日本の学校教育では同年齢のクラス分け、一日の時間割が四々五時間と区切られて子どもたちは生活しています。そこでは否応なしに時間割によって学ぶことが決められています。理解の遅い子、作業の遅い子たちはどうやって切り替えをしているのでしょうか。理解の早い子でも自分で考えること無しに次から次へと頭を切り替え、与えられた課題を黙々とこなしているのです。ましてや生まれてから数年しかたつて

いない幼児の場合はどうなのでしょう。特に小さい人は月齢によって発達の速度が全く違います。個人差がとても大きいのです。物事を理解するにもとても時間がかかります。

こどもが自分で選ぶことには次のようなことがあります。

何をして遊ぶのか

誰と遊ぶのか

どこでやるのか

いつはじめるのか

いつやめるのか

これらの事を子どもが自分で考えて行かためには、たっぷりの自由な時間があることと、また室内・園庭の環境を常に整えておくことが重要です。

子どもたちは一人ひとり皆違うということとをいつも頭において、その一人ひとりに寄り添ってお手伝いするよう毎日心がけましょう。子どもは宝です。「今」は二度と戻ってきません。「後で」を少しでも減らして子どもの成長を見守りましょう。



こどもの家集団

子どもにそなわっている
「自立する心」を大切にする
モンテッソーリ教育の理念によって
開発された教具教材です。



こどもの家集団
お問い合わせ

注文先・発送部

FAX 075-645-4181

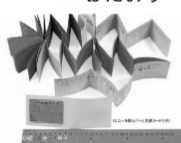
または 教材研究部 京都コースまで



線上歩行のために



はたおり



出席カード

言語教具棚



こどもの家集団 教材研究部：京都モンテッソーリ教師養成コース

〒612-0817 京都市山科区勤修寺御所内町64-3 TEL: 075-641-8280 / FAX: 075-642-8588



卒業式

第五十一回 専門コース

二〇二五年三月八日(土)

三月八日(土) 三時三十分より、深草子どもの家勸修寺園舎にて卒業式が行われました。

例年の如く、コース委員長より、卒業生一人ひとりのローソクに火が灯されました。これは、マリア・モンテッソーリの精神を深く学んだ卒業生が、その精神を受け継いでいくというシンボルです。このあかりを心にしっかりと灯し、それぞれの場所で、新たな歩みをなされますよう願っております。

ここからが、スタートです。卒業は、これから前に進めるための一区切りであって、始まりだと思っています。これから、私達と共に、歩み続けましょう。

卒業式終了後は、「あいいうえおのうた」を全員で合唱し、祝賀会が開かれました。地域の銘菓を持ち寄ってくださったり、フォークダンスの企画をしてくださり、楽しいひと時を過ごすことができました。終始、満足感で満たされた皆さんの笑顔が印象的でした。

三十八名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

渡辺 政美



◎九州地方

川越愛花(かいぜ/保) 岡本舞(聖母/幼)

◎中国・四国地方

西崎佑実(マリア/幼) 豊嶋もも(丸亀聖母

/幼) 山本梨生(道後聖母/幼) 齋藤祐里(岡

山ノートルダム清心女子大学附属/幼) 楠本

真由(海の星/幼)

◎近畿地方

宮田聖美・小谷保代(生野フラススコ/こ)

澤谷説子(キンダー・メーソン/こ) 西野聖菜

(精華聖マリア/幼) 平岩麻美子(神戸海星

女子学院マリア/幼) 小山亜希穂・笹部真由

(草津カトリック/幼) 水谷しおり・桑名愛巳

(聖パウロ/こ) 藤本泰子・時本有那(四恩

/こ) 畑野裕李(聖母/幼) 高橋彩華(賢明

学院/幼) 北川聖華・北村里佳(聖ヨゼフ/

こ) 片井敦子(月見ヶ丘こどもの家) 細見優夏

(復活/幼) 山中薫(鴻池かるがも/保) 上

田愛実(聖ドミニコ学院京都/幼) 中尾茜(奈

良カトリック/幼) 須藤美紀(伊丹森の/保)

左貝絵里

◎北陸・中部地方

山田真帆(さくら認定/こ) 川崎愛美(つば

み/保) 吉田珠里(あさひ/保) 山本佳世子(い

と勢認定/こ) 上坂みゆき(はぎの/こ) 石神

玲(新宮/保) 佐藤美羽(亀田平和の園/保)

◎関東地方

協坂日菜子(善行森の/幼)

◎北海道地方

加藤花梨(藤/幼)

(以上三十八名)

お祝いのことは

日本モンテッソーリ協会(学会)前会長

前之園 幸一郎

卒業式誠におめでとうございます。皆様の真剣な日々の努力の積み重ねが、本日ディプロマ授与として実現致しました。皆さまは生涯で二度と出あうことのないような大きな関門を見事に突破なさいました。これまでの人知れぬご努力に敬意をこめてお慶びを申し上げます。

本日から、皆様のモンテッソーリ教師としての本格的な歩みが始まります。幼い子どもたちを前にしての、現場における日々の生活には、多くの乗り越えなければならぬ問題が横たわっていると思われまふ。

モンテッソーリは、現場における教師の基本的な心構えとしていくつかの助言を残してくれています。その一つ目は「観察しながら待ちなさい」です。ファールが昆虫を観察した時のように、それぞれに個性の異なる子どもをじっくり観察して、それぞれに異なる発達時期が熟するのを待つ必要があるということです。子どもの成長や発達は外から教えることができません。それは子ども自身の成熟によって自然に現れるからです。その成熟の時期を観察しながら見守り、子どもが必要としている援助を行うことが教師の役割だとされています。

二つ目は、「教師の自己変革の努力」です。モンテッソーリ教師には、意識して昨日とは異なる新しい人間になる努力が求められております。私たちの大先輩である下條善子先生はとても大切な言葉で表現して下さいております。「育てながら育ち 育ちながら育てる 子どもとともに」です。この言葉には、保育の現場で、子どもと共に学び合いながら成長し、自己変革を模索するモンテッソーリ教師の真摯な姿が表現されております。

三つ目は「子どもの発見という教師の使命」です。自分の目で子どもの真実の姿を見出す努力がモンテッソーリ教師には求められております。子どもは人類に与えられた貴重な宝物であり、子どもの発見は終わることがありません。

皆さまが、幼い子どもの魂に仕える真摯な援助者として成長なさり、ご活躍されることを心から期待申し上げてお祝いの言葉といたします。

卒業生のことば

つばみ保育園 (福井)

川崎 愛美

冬の寒さも少しずつ和らぎ、日差しの暖かさに春の訪れが感じられる頃となりました。本日は私たちの卒業式を迎えられたこと、心より感謝申し上げます。また、私たちのた

めにこのような式典を設けていただき、私たちの成長を見守り、指導してくださった京都モンテッソーリ教師養成コースの講師の方々に心より感謝申し上げます。

園で京都モンテッソーリ教師養成コースの募集要項を見て、正直先輩の先生方の姿を見てきたので自分には無理、やり遂げることなんて出来ないと思ひました。しかし、私も縦割り保育の中で子どもと関わる以上モンテッソーリ教育について知ること、学ぶことが必要なのではないかと思ひ入学を決意しました。

授業では教具の紹介をされる先生の手元を見るのと、それを全部ノートに書き留めようとするのに必死で、足りない所があったときに補うことが出来たのは、丁寧に教えてくださったコースの先生方、ここにいるみなさんのおかげだと感謝しています。

見学、参加実習で目にしたのは、子どものことをよく知り、思いを尊重し、大切にしている姿やどんなに忙しくても手を止めて子どもと向き合い話に耳を傾ける姿を見たとき、私はこのような関わり、立ち振る舞いが日々の保育の中で出来ていたのだろうかと思ひ返りました。園に戻り、一人ひとりの心に寄り添った保育を心がけ、新たな気持ちで頑張ろうと自分を見つめ直す良い機会になりました。環境づくりでは、子どもが自主的に出来る環境だからこそ大人が教えなくても、子どもは自分で選択し、自ら育つていこうとする力を持つものだと思ひそれぞれの園を見学して改めて大切さを実感しました。

また、教具の紹介はどんなことを伝えたのか、じゅうたんや机の上をどう整理すると良いのかをまずはしっかり練習をして考えること、楽しいと思えるようにするにはどうしたら良いかを考えることが大切だと授業や試験の時に指導くださったのを今でも覚えています。頭で分かっていたても上手くいかないのが現実で悩むときもありましたが、福井の先生方と時間を合わせて練習をしたり、連絡を取ったりしたことが一番心強く、さらに頑張ろうという気持ちにさせました。自分が理解できていなかった部分が「こういうことか!」と頭の中で納得することが出来ました。

二年間の学びだけでなく、これからもモンテッソーリ教育への理解や実践し、「子どもから学ぶ」という気持ちを忘れず謙虚な姿勢で学び、モンテッソーリ教育が生かされた園作りを目指して頑張っていきたいと思います。

最後に、保育士として働きながらコースに通うのはとても大変で、何度も心が折れそうになりましたが、丁寧に教えてくださったコースの先生方や同じ学びを志したみなさんのおかげでここまで来ることが出来たと思っています。これからの学びは、日々の保育や京都コースの夏期講習会、日本モンテッソーリ全国大会で学び合い、その時に思い出話や近況報告が出来ることを楽しみにしたいと思います。本当に二年間ありがとうございました。

藤幼稚園（北海道）

加藤 花梨

私のモンテッソーリ教育との出会いは、自分が園児として、現在務めている幼稚園に入学した時のことでした。その頃のことを思い返すと、数や言語の活動には全く興味がなく、いつも三つ編みや紙織り、寒い時期であればマフラー編みや機織りといった作り物ばかりに取り組んでいました。先生に誘われて、色板等の感覚教具には触れていた覚えがありますし、おそらく、先生は数や言語の教具にも誘ってくれていただろうと思いますが、様々な活動を学んだ今、実にもつたいないことをしたなという思いでいっぱいです。子どもの頃にモンテッソーリ教育の環境で過ごしていたことが、今の自分にどのような影響を与えているのか、改めて考えることはありませんでした。楽しい幼稚園生活だったことは確かです。この場所が楽しいことを子ども達にもつと伝えたい、また、子どもの様々な「やってみたい」に応えられるようになりたいという思いから、受講することを決めました。

私は、基礎コースから編入試験を経て、京都で一年間、勉強しました。札幌会場は二年かけて基礎コースの内容を扱うため、学び始めて三年目となります。授業を受けたり、本を読んだりする度に、モンテッソーリ教育の奥深さを感じ、学びに果てはないのだと思ひ知りますが、一つの区切りとしてこの卒業の日を迎えられたことを嬉しく思います。

京都に足を運んだこの一年間、学生の皆さま

んとは、実習後や授業の後と一緒に練習させていただき、とても実りの多い時間となりました。ノートを片手に一人で流れを確認する場合と、実際に手を動かしながら練習する場合とでは、やはり理解の深まりに差が出るように感じました。日々の保育や業務時間の中で、教具の練習時間を確保することは簡単なことではありません。だからこそ、コースでの時間が、貴重でありがたかったです。学生の皆さんと、紹介の流れを思い出しながら、また、「どのように提供すると、子どもが分かりやすいか」ということを考えながら行う練習は、とても良い刺激になりました。

講師の先生方だけではなく、参加実習、見学実習を受け入れてくださった園の先生方にも大変お世話になりました。いつも温かく出迎え、励ましの言葉をいただき、感謝の思いでいっぱいです。北海道は、モンテッソーリ教育の実践園がまだ少ないため、なかなか他の園の様子を知ることができなかったのですが、専門コースでの実習が様々な園を見る機会となりました。地域が違っていると、気温、動植物といった自然環境も異なり、それに伴って子ども達の過ごし方にも違いがあり、おもしろい発見がたくさんありました。「本物に触れる」体験は、自然に限らず、工夫次第で様々なことができると思います。子ども達に豊かな体験を提供できるよう、子ども達にとって魅力的で使いやすい環境を整えていきたいと、改めて感じました。

この一年、職場では同じくモンテッソーリ

教育を学んだ先生方が、家では家族が、私の学びを支えてくれました。仕事をしながら新しいことを勉強し、課題を提出する日々は慌ただしいものでしたが、この経験が自分の糧となり、自信にも繋がることでしよう。それほど、京都コースでの学びは、興味深く、魅力的なものでした。ここで得たものを心に留め、子ども達が自分自身を形作っていく姿を見守り、手助けできる保育者であろうと思います。短い期間でしたが、本当にありがとうございました。

亀田平和の園保育園（新潟）

佐藤 美羽

このたびは、私たちのためにこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。そして、共に学んだ卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

まずはじめに、私が京都モンテッソーリ教師養成コースに入学した理由は、勤務している亀田平和の園保育園でモンテッソーリ教育を取り入れており、園長先生や先輩である先生方の関わりやその中で生活する子どもたちの姿に魅力を感じたからです。そこで、園長先生がこの京都コースに通う機会を与えてくださり、基礎コースから編入する形で専門コースにも通わせていただきました。

モンテッソーリ教育を学んで何より良かったことは、子どもに対する新たな発見があったことです。子どもには驚くべき集中力があり、繰り返し作業や秩序や静けさが好きだ

なんて、想像もしていなかった子どもの姿でした。子どもの真の姿を学び、実際に触れていくうちに、子どもを一人の人間として尊重し、個人の尊厳を守らなければならないという意識がより一層強まったように感じます。そのためには、目の前にいる子どもを観察し、よく知り、子どもから学ぶという姿勢が大切だと学びました。先輩方や実習先の先生方はその子どもをよく知る力が養われていますから、目の前にいる子どもの敏感期という好機をとらえてそれを決して逃さずに関わらせていました。そのため、子どもたちはいつでも自分にぴったりで魅力的なお仕事に出会うことができ、先生方もそのお仕事を通して子どもと関わる中で、またより深くその子どもを知っていつているようでした。また、子どもの自立と成長には整えられた環境が必要であることを学びました。モンテッソーリの精神をはらんだ教具はどれも魅力的ですが、それをどこに配置してどの時期に出して誰にどのように提供するかは私たちの力量が試されています。教具だけでなく、子どもは本物の活動や自然が大好きで、そこから学ぶことも多くありますから、その取り入れ方についてもいつも頭を悩ませています。それから、物や場所だけでなく私たちも環境の一部です。私たち大人が子どもの手本となるように意識して生活を送る必要がありますし、子どもの自立に向けて、訂正せずに繰り返し教えながら、段階を踏んで必要などころだけ手助けするように心がけています。そこで、縦割りクラ

スの素晴らしいところは、子どもたち同士でこのような手助けの姿を見ることができるところで、普段からたくさん感動をもらっています。毎日子どもたちと関わりながらたくさん失敗を重ねていますが、何か上手いかなんかことがあっても、それを子どものせいにすることなく、設定した環境が悪かったからだと臨機応変に環境を考え直し、常に子どもたちのためにという気持ちで保育することができている日々は、京都コースで得たかけがえのない財産だと感じています。モンテッソーリ教育の子ども観や教師像に出会えたことは私にとっても大きなことでした。

京都コースに通いながら、板東園長先生のご指導のもとで、京都コースを卒業された先輩方と共に、毎日子どもたちと関われるという恵まれた環境に身を置きながら、まだまだ未熟者ですが、ようやくスタートラインに立つことができました。これからもこの学びの場を提供してくださった深草こどもの家の職員の皆様、快く実習を受け入れてくださった実習先の職員の皆様、コースの通学にご協力いただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。京都コースに通わせていただいたこの三年間は、私の保育士人生においての宝物です。本当にありがとうございました。

京都モンテッソーリ教師養成コース 基礎コース 札幌会場 受付中

養成期間：2年間 申込み先：京都モンテッソーリ教師養成コース事務局 会場：藤幼稚園（札幌）

日程（2025年）	第Ⅰ課程	第Ⅱ課程
8月3日・4日	生活教育Ⅰ	感覚教育Ⅱ
8月5日・6日	感覚教育Ⅰ	生活教育Ⅱ
8月7日・8日	言語教育Ⅰ	数 教育Ⅱ
8月9日・10日	数 教育Ⅰ	言語教育Ⅱ

*第Ⅱ課程は、第Ⅰ課程終了者対象です。

8月、快適な札幌で学びましょう。
お申込み、お待ちしております。
願書受付 6月30日まで

あたらしい

管理者のためのコース

復活しました（2025年4月より）

モンテッソーリ教育への切り替えは若い先生だけでは難しい
やはり管理者の方々と、一緒に力をあわせないと！
子どもにとって、より良い教育を実践していきましょう！

興味・関心のある方はお問い合わせください。TEL 075-641-8280

推薦図書

「子どもから学ぶ」 ～モンテッソーリ教育の実践より～

著者 岡山真理子 / 出版社 創風社

この度、岡山真理子先生の「子どもから学ぶ」という本が出版されました。
岡山真理子先生は、京都コースの講師であり、深草こどもの家で実習を担当されていました。
岡山先生のもとで実習をさせていただきましたが、いつも子どもを前に謙虚であり、子どもを観察し、一人ひとりの子どもに丁寧に関わり成長のお手伝いをされていました。常に子どもの心に向けられていた姿を目のあたりにして、心を打たれました。この書籍には、岡山先生が子どもから学んだことがぎっしり詰まっており、モンテッソーリの精神の奥深さを身に染みて感じます。子どもの心に寄り添った良き援助者が増えることを願って、この一冊をお勧めいたします。（文：渡辺政美）

～心に残る言葉 書籍より～

- ・子どもができないことを嘆かずに、できるようになったことを喜びましょう
- ・子どもに対していつも謙虚であり、忍耐力があり、子どもに仕えること
- ・育てるのではなく、育ちを助けるのです
- ・子どもの手がいくところには精神も一緒に動いています
- ・子どもの活動をとめることは成長を止めていることと同じです
- ・子どもの仕事は自分を育てています
- ・子どもは、毎日毎日、自分を創る仕事をしているのです





だより

目に鮮やかな新緑にみ
ぎる生命力を感じる今日こ
の頃、皆様お元気でお過ご
しでしょうか。

さて、今年三月八日に、
第五十一期、三十八名の学
生がコースを卒業されまし
た。式では根岸先生から

ディプロマを授与していただき、これまでの大変
なご苦労、やりとげられた喜び等々、皆様それ
ぞれに様々な思いが溢れ、厳粛な中にも感動的
な雰囲気になりました。卒業生には早速わか
ば会にご入会いただきましたこと、大変嬉しく
思っております。ささやかではありますが、わ
かば会から記念品を送らせていただきました。

また、今年もコースの夏期講習会が行われま
す。その際わかば会費の徴収を行います。参加
されない方は、下記へ振込をお願いいたします。
お預かりした会費は主に夏季講習会の補助や、
講演録「自由をこどもに」の書籍代、「コースか
らの手紙」「自由を子どもに」が発刊される際の
補助に使わせていただきます。詳細はわかば会
総会にてご報告させていただきます。ご協力を
お願いいたします。

また、深草子ども家の法人化に向けてのク
ラウドファンディングが開始されます。私たち
はモンテッソーリ教育に出会い、深草子ども
家での学びを通して、一人ひとりの子どもが自
分らしく自分の良さを発揮しながら主体的に生
きる姿に幸せを感じています。この学びの原点

である深草子ども家がこれからも益々発展し、
私共を導いてくださいますよう、そして多くの方
にこの教育が伝わり、幸せな子どもが増えます
よう、卒業生として応援しましょう！

岡山眞理子先生のご著書「子どもから学ぶ
モンテッソーリ教育の実践より」が発刊されま
したことは、私たち卒業生にとりまして大きな喜
びであります。子どもへの深い愛情で常に子ども
の側にたち謙虚に子どもの声を聞き続ける先生
の実践は私共の道しるべとなることでしょう。
では夏に皆様にお会いできますことを楽しみに
しております。

わかば会 会長

ロザリオ学園海の星幼稚園園長 上田礼子

【会費納入について】

◎振込先

02 東京 00150-9-82053

京都モンテッソーリ教師養成コースわかば会

◎年会費

1,500円

※長期滞納の方は再入会金 1,000円と
2024年、2025年の2年分 3,000円
計4,000円をご送金ください。

◎問い合わせ先

わかば会 上田 礼子(海の星幼稚園)

〒791-8076 愛媛県松山市会津町6-1

TEL:089-951-1717

FAX:089-952-5766

メール:uminohoshiencho@blue.ocn.ne.jp

2025年度日本モンテッソーリ協会(学会)全国大会のお知らせ

日 程：2025年7月30日(水)～8月1日(金)

会 場：パシフィコ横浜 会議センター

大会テーマ：「次世代への責任

ーモンテッソーリ教育の視点からー」

※シンポジウムで京都コースの徳田諭先生がお話しされます。
ぜひご参加ください！



2025年 モンテッソーリ教育講習会 京都モンテッソーリ教師養成コース

自由を子どもに・・・

大会テーマ「子どもの人格を尊重して 一人ひとりを大切に」

日 時：2025年7月26日（土）27日（日）／会 場：kokoka 京都市国際交流会館

7月26日（土）全体会 13:00～17:00 受付開始 12:30		
時 間	内 容	講 師（敬称略）
13:00～	オリエンテーション	
13:10～14:40	リモート講演 「モンテッソーリ教育と平和の実現」	前之園幸一郎 日本モンテッソーリ協会前会長
14:40～15:10	リフレッシュコンサート フルート演奏	フルート 伊藤公一 ピアノ 水野久美
15:25～16:55	講演 「なぜ『自由を子どもに』なのか？ ～教育の本質から考える～」	苫野一徳 熊本大学教育学部准教授
17:00～17:30	わかば会（京都コース卒業生の会）総会	

◎夕食会 7月26日（土）19時～ 於：和食・懐石がんこ 高瀬川二条苑

7月27日（日）分科会 9:45～16:00 受付開始 9:30～			
時 間	A	B	C
9:30 開場	ワークショップ 子どもの育ちを助ける 生活教育 「一人ひとりの思いに 寄り添って」 ～環境とうまく関わりたい～ 洗濯など ～自分の事は自分でしたい～ 手を洗う 着衣枠など 講師：黒瀬能子、徳田諭	亀田平和の園保育園 製作活動 「一年を通じて 楽しい工作の実践」 （3, 4, 5歳児） 亀田平和の園保育園 板東光子、牧野、石川	こひつじ保育園 1～2歳児の保育 「自然と食のお仕事でつながる 家族支援」 こひつじ保育園園長 田崎久子
昼休み 12:15～13:15 ＊お弁当の受け渡し（特別会議室前）			
13:15 開場	D	E	F
13:30～16:00	ワークショップ 子どもの育ちを助ける 数教育 「楽しみながら数の面白さを 発見しよう」 ～十進法による加減乗除と連続数～ 銀行あそび （たし算・ひき算・かけ算・わり算） セガン板Ⅰ、Ⅱ など 講師：渡辺政美	子どもが自ら育つ 環境を考える ・うめだ子供の家卒園生 木下めぐみ ・深草こどもの家 長谷川美枝子 ・深草こどもの家 卒園生保護者	モンテッソーリ 宗教教育 「子どもの心に種を蒔く」 湘南白百合学園幼稚園園長 長谷川京子

*各会とも、定員を超えましたら、それ以降のお申込みについては、選択の変更をお願いする場合がございます。ご了承ください。